



久留米中だより

令和5年度 教育目標 全国学力・学習状況調査の結果を分析し課題（授業改善）

校長 花房 康之

4月18日に3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。国語、数学、英語の3教科について、本校の結果より、今後の授業改善について報告をさせていただきます。

1 調査結果

	国語		数学		英語	
	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
久留米中学校	9.4/ 15	63	6.7/ 15	45	6.8/ 17	40
東京都 (公立)	10.8/ 15	72	8.2/ 15	54	8.8/ 17	52
全国 (公立)	10.5/ 15	69.8	7.6/ 15	51.0	7.7/ 17	45.6

2 国語観点別結果・分析と課題（授業改善）

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	59.6	70.1	69.4
思考・判断・表現	65.6	72.9	69.7

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができていないため、音読の回数を増やし、定着できているかどうか小テストをして確認し、教員がつかずきやすいものをピックアップして再度指導する。

○「おし量って」の「おし」は無回答率が低かったのですが、間違えて「押し」と書いてしまった生徒が多いと考えられる。同訓異字などの単元で教科書では選択する問題が記載されているが、書く活動を通して漢字に慣れるようにする。聞くこと話すことの単元で、ワークシートなどを工夫して

○インタビューの問題で無回答率が高かったため、自分の考えを必ずもつように指導する。

3 数学観点別結果・分析と課題（授業改善）

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	53.5	58.7	55.7
思考・判断・表現	27.8	45.8	41.6

○観点別で見たとき、思考・判断・表現の分野での正答率が低い。授業でも問題を正しく理解し、読み取り解くことが困難であると考えられるので、時間をかけて丁寧に指導する。

○データの活用の正答率はいいが、関数・図形は無回答が多い。復習する習慣が定着していないため、授業で習ったばかりの単元以外への理解度が不十分である。多くの類似問題を用意する。

○計算力は定着するようにねばり強く指導していく。繰り返し課題に取り組ませ、ポイントをおさえて解けるように指導する。

4 英語観点別結果・分析と課題（授業改善）

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	44.7	57.9	51.5
思考・判断・表現	34.5	44.8	38.8

○読むこと 概要をつかむ、単語の意味を予測し文を読むことが苦手。語彙力不足。単語を繰り返し毎時間練習する。長文に慣れるために読解問題に取り組む際は、スモールステップで概要把握、段落ごとの読み取りと詳細の読み取りを通じて長い文章を読むことに慣れさせる。

○書くこと 授業内容での実践練習が不足。言語使用場面が不足。新出語句は活用する演習を取り入れる。難しい表

現を簡単なものに言い換える練習をスピーキング活動で継続して取り組む。また場面描写、リテリング（英文を聞いたり読んだりした後、キーワードや絵をヒントに、英文を再構成して自らの言葉で話す活動）などの活動を通して書く力につなげていく。

久留米中生の活躍(表彰)

陸上部

・第76回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会
1,2年女子走高跳 第2位 1m49

・第54回東京都中学校Ⅱブロック陸上競技選手権大会
最優秀選手賞

1,2年女子走高跳 第1位 1m53 ※大会タイ記録

1,2年女子砲丸投 第2位 7m15

1年男子4×100mR 第5位 57.0秒



バスケットボール部

・令和5年度東久留米市シード権大会
女子の部 優勝
男子の部 準優勝



卓球部

・第55回東京都中学校第Ⅱブロック

新人卓球大会

男子シングルス 第5位

女子シングルス 第5位



修学旅行



10月10日(火)から12日(木)、2泊3日の京都・奈良方面への修学旅行を無事終えることができました。1,2年生での校外学習、宿泊行事から学び、経験してきたことを十分に発揮できた3日間だったと思います。

生徒全員に行った事後アンケートでは、「失敗してしまったこともあったが、その失敗を経て考動することができた。」と回答している生徒もおり、想定外の事態になった場合でも、自分たちで考え、行動できたのは大きな成長だと感じています。残り5ヶ月、培った考動力を存分に発揮していきましょう。

修学旅行担当

職場体験

10月10日から12日まで第2学年では、職場体験を実施しました。

それぞれ数名のグループに分かれて各事業所で体験をしました。少ないところでは1人、多いところでは5人ほどの人数を受け入れていただきました。

教員が様子を見に行くと、どの生徒も真剣に作業に取り組んでいました。時には楽しそうに笑顔を見せる場面もありました。中には将来の進路に影響を与える経験になった生徒もいるかもしれません。

13日から、体験のまとめとお礼状書きに取り組みました。合唱コンクールの直前でもあり、すぐに次の行事に向けての取り組みに切り替えていました。

自分の希望したとおりの職場に行けた生徒とそうでない生徒がいました。いずれにせよ、学校生活や学習が将来の就業にどのように関連しているかを考えるよい機会となりました。



2年生 学年主任